

Mobile Eco Village

モバイルエコビレッジ

JIA ((社)日本建築家協会) マガジンに巻頭大特集されました!

『ホビーリゾート＆レスキュークラブ』(仮称) モデルエコビレッジ(国際救助都市)構想

2011年(平成23年)3月11日の東日本大震災と原発の爆発を境に、世界中でパラダイムシフト(価値観の転換)が大きく始まりました。

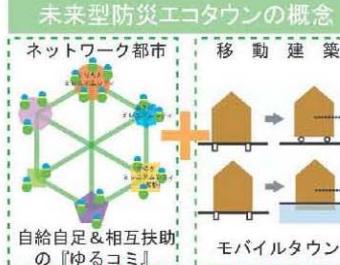
津波や地震等の自然災害も甚大な被害をもたらしましたが、何と言っても原発の爆発事故は日本のような人口密集国で起きたという意味では、人類初の大人災ということがいえます。

日本には既に54基もの原発が存在しています。しかも、日本は大地震頻発国であり、首都直下大地震や東海・東南海大地震は今後数年から20～30年の間に高い確率で起きることがわかっています。要するに、日本のどこでも今回の福島原発のような大爆發と広域エリヤの放射能汚染が起こり得るということです。

今回の福島の事故では、地震にも津波にも耐え、無傷である建物や田畠も放射能汚染により使用不可能となりました。その結果、棄され、村ごと町ごとゴーストタウンやゴースト農村となっているところも多数あり、千棟、何万棟という住宅や建築や土地まで一瞬にして財産価値を失ってしまったことが加えて、それまで培ってきたコミュニティバラバラになり崩壊してしまいました。市やコミュニティ、市民団体相互間の助け合が不可欠です。このことに応える新しいハラダイムの村づくり、まちづくりのモデルづくりが急務です。

そこで、ハードとソフトの両面を伴った解決策の実例モデル提示として(仮称)「ホビーリゾート＆レスキュークラブ」モデルエコビレッジを提案します。

ホビーリゾートを中心に、多種多様なクラブコミュニティをつくり、日常は楽しく交流し、非常時(災害時)等は、相互救助・避難協定

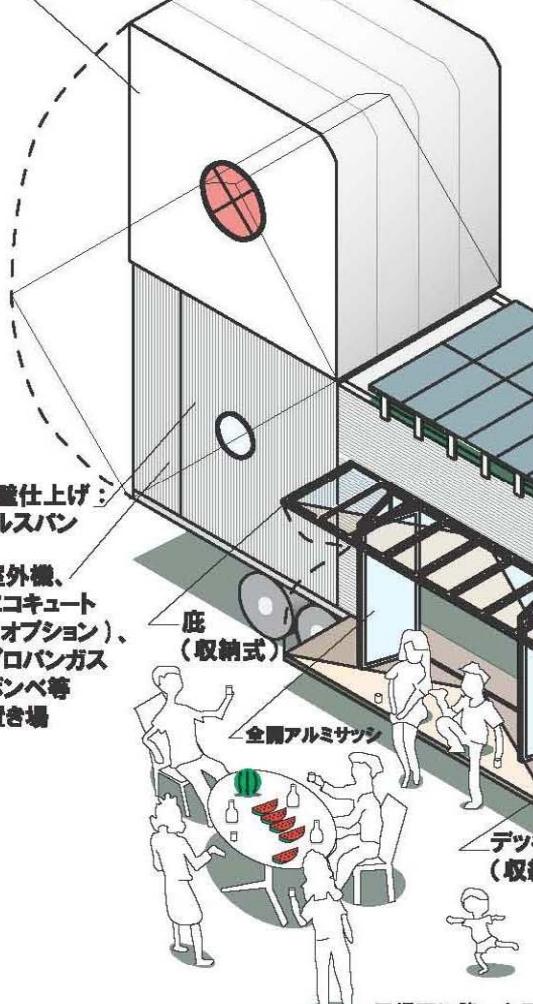


Eco survival trailer house

エコ・サバイバル・トレーラーハウス “ハコブネ日本丸I”

第1弾

ガルウイングテント：テント2階建て
(日本の国旗等プリント各種あり)



外壁仕上げ：
ガルスパン

室外機、
エコキュート
(オプション)、
プロパンガス
ボンベ等
置き場

エアコン
室外機置き場

個室
約3帖

梯子

プロパンガス
ボンベ置き場

浴室

洗面

エコキュート
(オプション)

個室
(テント)

ダイニング

洗面

全開アルミサッシ

床レベルデッキ(収納式)

2階平面図 (No Scale)

1階平面図 (No Scale)

立面図 1 (No Scale)

立面図 2 (No Scale)

立面図 3 (No Scale)

エコ・サバイバル・トレーラーハウス “ハコブネ日本丸I”

他にも超コストパフォーマンスの高いモデル続々登場予定!

いよいよ
先行販売予約受付開始!

エコ・サバイバル・トレーラーハウス

トレーラーハウスの常識を覆す3DK+a。最大就寝人数：大人9名以上の樂々就寝。一般住宅に比べても耐震性能も含めた様々な利点に加え、災害時等の避難移動にも対応可能な新しい時代のモバイルハウス。

このトレーラーハウスだけでも、約30日間以上のエネルギー・水・食糧を賄えるようにする。

ex.オプションで太陽光発電設備、蓄電池、浄水器、食糧備蓄庫等を搭載可能。

太陽光発電システム(約1kw)
(オプション)

菜園用ポッド

アルミ足場板製階段ユニット(収納式)
椅子(収納式)

テント(階段下も利用可能)(収納式)
ex.ベッドルーム

ガルウイングテント
太陽光発電システム(約1kw)(オプション)

立面図 1 (No Scale)

立面図 2 (No Scale)

立面図 3 (No Scale)

概略データ
■室内面積
1階：約26.5m²(約8.0坪)
(階段下も含む)
2階：約5.0m²(約1.5坪)
(ガルウイングテント部含む)
計：約31.5m²(約9.5坪)
■高さ
通用時：約3.8m
ガルウイングテント使用時：約7.0m
■幅及び長さ
幅：約2.5m、長さ：約10.0m
階段使用時長さ：約12.1m

完成予想イメージ
(※実際のものと
多少異なる場合が
あります。)

